

被ばく線量極めて少ない



【問い】私は現在、むし歯の治療のために歯科医院に通っていますが、治療の度に歯のエックス線写真を撮られているような気がします。こんなに何回もエックス線を浴びて大丈夫でしょうか。(35歳女性)

【答え】結論から先に申し上げますと、全く問題はありませんで心配なさらないでください。

私たち人類は宇宙から降り注ぐ宇宙線や地中から出てくる放射線など(自然放射線と言います)を絶えず浴び続けています。生体への被ばく影響量を示す単位はシーベルトで表されますが、日本人1人当たりの自然放射線量は年間2・1ミリシーベルト(世界平均は2・4ミリシーベルト)とされています。現在までの研究を基に、日本産科婦人科学会では胎児の被ばく安全限界を厳しめに50ミリシーベルトと提唱していますが、国際放射線防護委員会(ICRP)の勧告によれば、一般には100ミリシーベルト以下の被ばくであれば人体への影響はほとんどないと考えられています。

デンタル写真(口の中に小さなフィルムを入れて撮る写真)1枚当たりの被ばく量は

約0・04ミリシーベルト、パノラマエックス線写真(歯と、あご全体が写る写真)で1枚当たり約0・05ミリシーベルト、歯科用CT撮影1回当たり約0・2ミリシーベルト被ばくします。しかし前記の2

・1ミリシーベルトと比較すると、デンタル写真では約52枚、歯科用CTの場合でも10回撮影が行われて初めて皆さんが日頃浴びている放射線と同じ量になり、極めて少ないエックス線量の被ばくであることをご理解いただけると思います。もちろん、どれだけ安全ですと断言しても、患者さんの不安は残るかもしれません。しかし、われわれ歯科医師は、エックス線写真から得られる病変の情報がない状態で治療を行っても大丈夫か、見た目ではわからない歯や骨の内部の情報を得て正しい診断の下、治療を進める方が患者さんにとっての利益が大きいか、絶えず考えて撮影の選択を行います。そして撮影する際には被ばくの可能性を合理的にできる限り低く抑えるよう努力していますので、ご安心ください。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-1860、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

何回もエックス線撮影

回答者 角 忠輝
長崎大学病院
総合歯科診療部教授

